

《令和2年度 環境経済部 組織目標の達成状況》

**重** 令和2年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者  
部長 藤田 雅也

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度未実績】
<p>1 良好な自然環境を維持していくために、生態系に配慮した環境保全と環境負荷低減への取り組みが求められています。</p>	<p>① 環境負荷の低減のため、事業所等の適切な指導に努めるとともに、事業者や市民の自主的な環境保全活動を支援します。</p>	<p>【取組】 定期河川調査に取り組みます。(事業費2,292千円)</p> <p>【成果目標】 環境管理基準(※BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)24/24 (令和元年度 18/24)</p> <p>※BOD:生物化学的酸素要求量。水中の有機物等の量を表す水質指標のひとつ</p>	<p>【取組実績】 河川の水質を調査しました。</p> <p>【成果目標実績】 環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)18/24 調査対象の河川である狼川において、基準を満たさない月があったため、該当河川流域の工場排水調査を重点的に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市内一円の工場立入調査に替わる書面調査を行い、環境法令に基づく適切な指導を行いました。</p>
<p>2 資源循環型社会を構築するため、ごみの発生抑制・再使用・資源化が必要です。</p>	<p>② 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画で設定する数値目標の達成に向け、ごみの発生抑制・再使用・資源化をさらに進めます。 ごみ量推計を踏まえた目標設定と、本市の課題や国内外の潮流を踏まえた課題に対応する施策を検討し、令和4年度からの新たな計画を策定します。</p>	<p>【取組】 ・ごみ問題を考える草津市民会議と連携し、リサイクルフェア等の啓発事業を実施します。 ・広報、分別アプリおよび出前講座等を通じて、ごみの発生抑制・再使用・資源化に関する啓発を行います。 ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定します。(事業費 2,781千円)</p> <p>【成果目標】 ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源ごみ除く):430g/人・日 (令和元年度実績:451g/人・日) ・1人1日当たりの事業系ごみ排出量:265g/人・日 (令和元年度実績:275g/人・日) ・リサイクル率:24%(令和元年度実績:19.1%) ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定</p>	<p>【取組実績】 ・リサイクルフェアは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりましたが、市民会議会員セミナーや環境文化フォーラムで、草津市のごみの現状について講演し、ごみの減量意識の醸成を図りました。 ・広報、分別アプリおよび出前講座等を通じて、ごみの発生抑制・再使用・資源化に関する啓発を行いました。 ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定に向け、ごみの減量施策と目標値の設定について、慎重に検討を重ねました。</p> <p>【成果目標実績】 ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源ごみ除く):463g/人・日 ・1人1日当たりの事業系ごみ排出量:245g/人・日 ・リサイクル率:18.7% ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う審議会の開催自粛と、コロナ禍におけるごみ量推計の検討に時間を要したことから、令和3年度の策定に変更しました。</p>
<p>3 環境にやさしいまちづくりを進めるうえで、環境学習の推進や脱炭素社会への転換が求められています。</p>	<p>③ 「第2次草津市環境基本計画」に掲げるリーディング事業「『エコミュージアム』の展開」を図るため、環境学習等に関わる様々な活動情報を提供・発信できる場づくりや、環境学習に取り組む人・団体などの活動支援を図ります。 また、脱炭素社会への転換を図る取組として、省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの利用促進を図るとともに、市民が日常における環境に配慮した自発的な行動の実践につながるよう取組を進めます。</p>	<p>【取組】 子どもと大人が身近な環境について一緒に話し合い、日ごろ環境への取組を行っている学校や市民団体、企業などが取組を発表・交流する場である「こども環境会議」を開催し、環境学習内容の充実と機会の拡大を図ります。(事業費 1,102千円)</p> <p>【成果目標】 こども環境会議参加団体数 65団体(令和元年度:64団体)</p> <p>【取組】 ・企業や市民団体などに対し、自主的な環境に配慮した取組が盛り上がるよう「愛する地球のために約束する協定」締結の促進を図ります。 ・市民に対し、エコ・アクション・ポイント事業を通じて、地球温暖化、エネルギー、ごみ等に対する環境に配慮した市民の活動や取組の推進を図ります。(事業費 731千円)</p> <p>【成果目標】 事業利用者 600人</p>	<p>【取組実績】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催については、次年度へ延期しましたが、クリーンセンター2階において環境学習に取り組んでいる団体の活動内容を展示し、啓発を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 こども環境会議の代替事業として、展示による啓発を実施。 (出展団体数:18団体 展示数:70品)</p> <p>【取組実績】 ・企業や市民団体などに対し、「愛する地球のために約束する協定」の締結に向けた啓発を行いました。 (協定締結数:52団体) ・エコ・アクション・ポイント事業を通じて、地球温暖化対策などの環境に配慮した市民の活動や取組の推進を図りました。</p> <p>【成果目標実績】 事業利用者 476人 (個人ではなく世帯単位で取り組むことで一体感が生まれ、一定のポイントにも達することから、目標を150世帯として取り組んだ結果、119世帯の利用実績となった。1世帯あたり、平均4人として事業利用者数を算出。)</p>

